

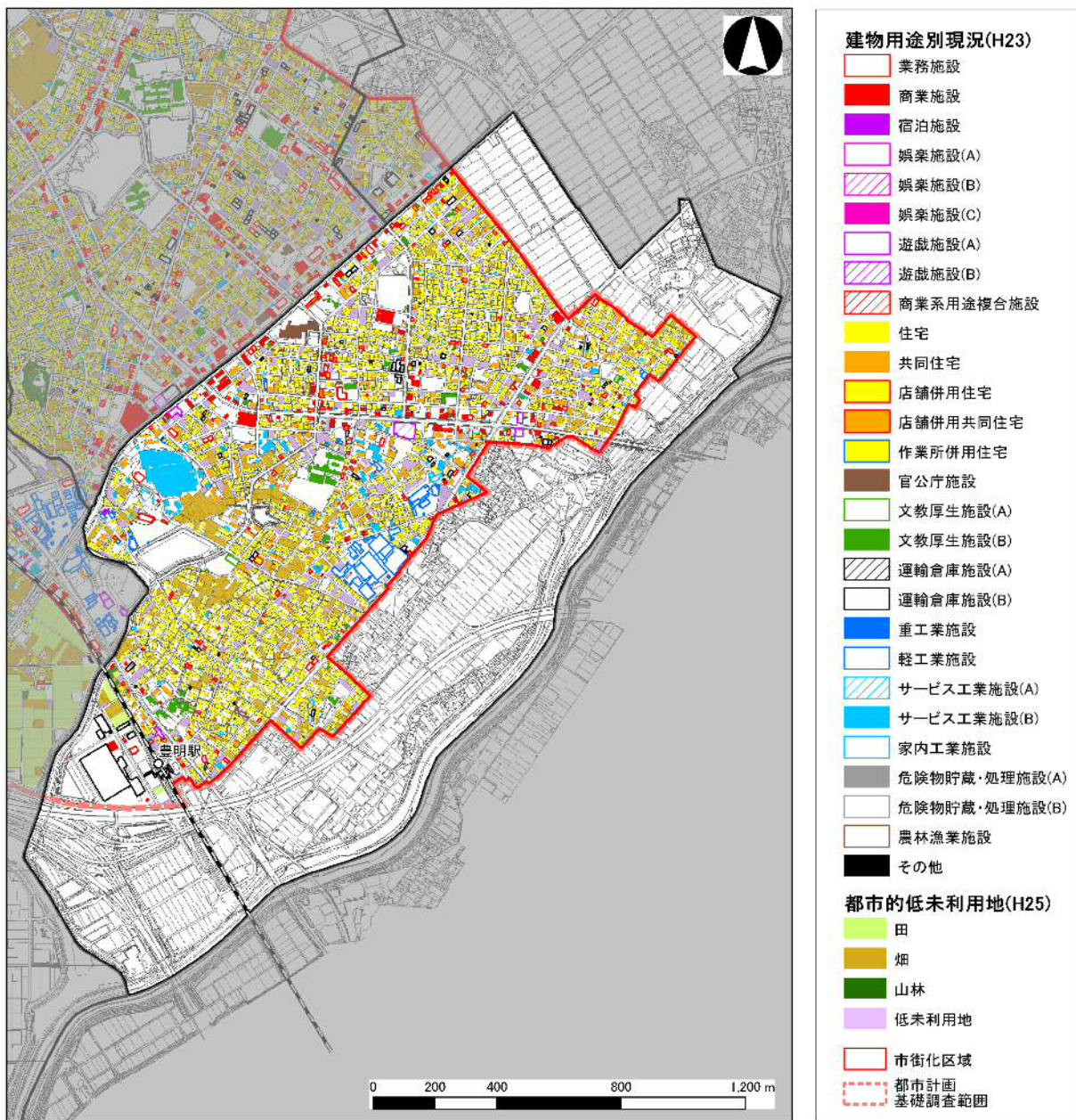
# 中央小学校区

## 1 地域の概況

### (1) 土地利用

- 駅周辺は住宅地が主体となっており、幹線道路沿いは一部で工業地となっています。
- (都) 瀬戸大府東海線及び(都) 敷田大久伝線の沿道を中心に商業施設が立地しています。

図 土地利用現況



資料：平成 23、25 年度都市計画基礎調査

## (2) 都市基盤

- 宅地となっている地区はほぼバスの利用圏（半径 300m）に含まれているものの、阿野町稲葉などはバスの利用圏に含まれていません。しかし、豊明駅から約 1km 圏となっているため、特に公共交通の利便性が低い地域とは考えられません。
- 本地域の北部では、土地区画整理事業が行われていますが、完了年が昭和 60 年以前となっており、都市基盤施設の老朽化などが懸念されます。また、豊明駅周辺には既成市街地が広がっています。
- 土地区画整理事業が行われた範囲では、都市公園が整備されており、身近な公園が十分整備されていますが、豊明駅周辺をはじめとしたその他の地区では、公園が整備されていません。
- 本地域の都市計画道路は、(都)国道 1 号東線が概成済となっています。

図 都市基盤整備状況



資料：豊明市

(3)人口等

- 平成18年から平成28年にかけて、三崎町、大久伝町では人口は減少しているものの、地域全体では人口増加となっています。
- 高齢者割合は三崎町で市平均24.8%（平成28年住民基本台帳）を上回っていますが、地域全体においては市平均を下回っています。

表 地域内の人口と高齢化の状況

町名	H28人口	H18人口	人口増減数	H28高齢者	高齢者割合
阿野町	4,203	4,073	130	1,011	24.1%
三崎町	449	482	-33	117	26.1%
新田町	7,307	6,821	486	1,533	21.0%
大久伝町	2,027	2,060	-33	444	21.9%
合計	13,986	13,436	550	3,105	22.2%

※各町の人口等は本地域分を計上

資料：住民基本台帳

図 H18～H28 人口増減

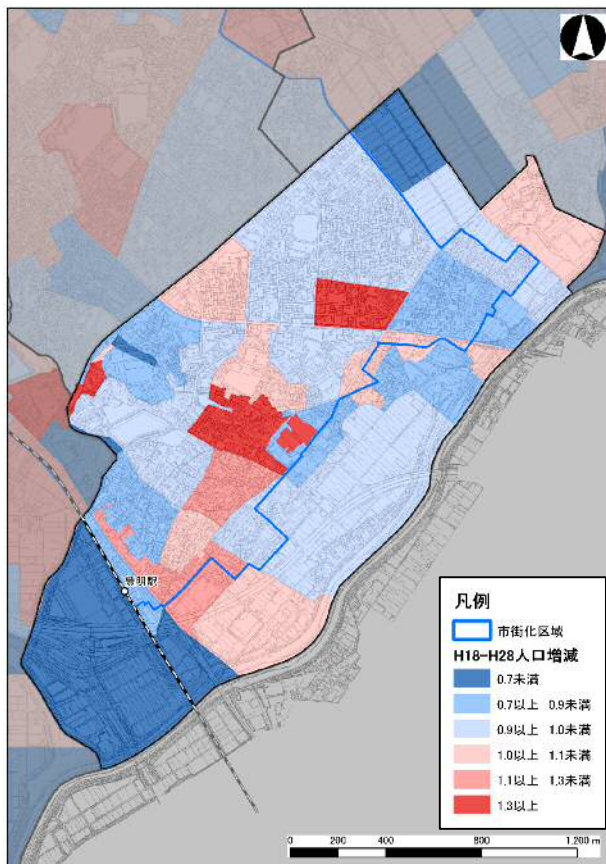
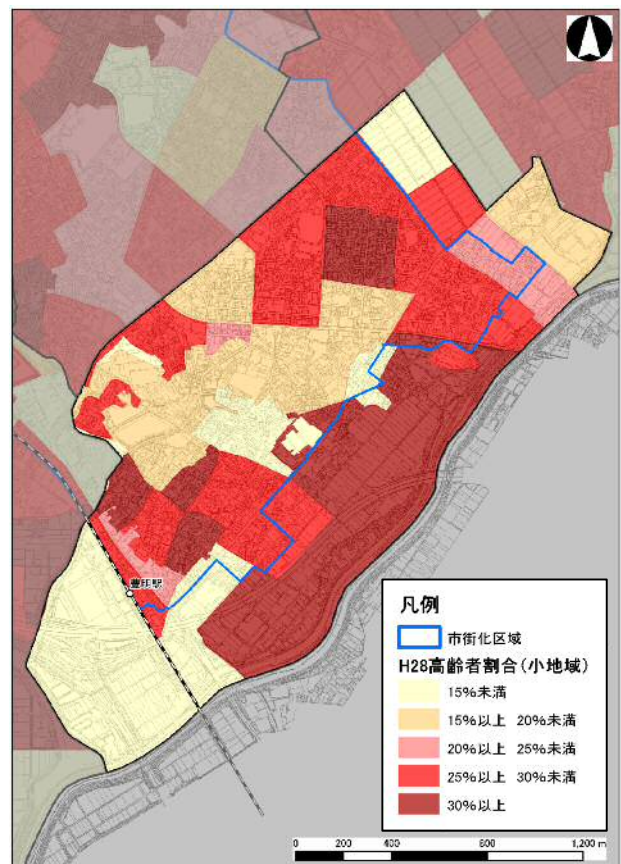


図 H28 高齢者割合



資料：住民基本台帳

## 2 地域の魅力と問題点

地域別ワークショップで出された意見をもとに、本地域におけるまちづくり上の魅力と問題点を整理します。

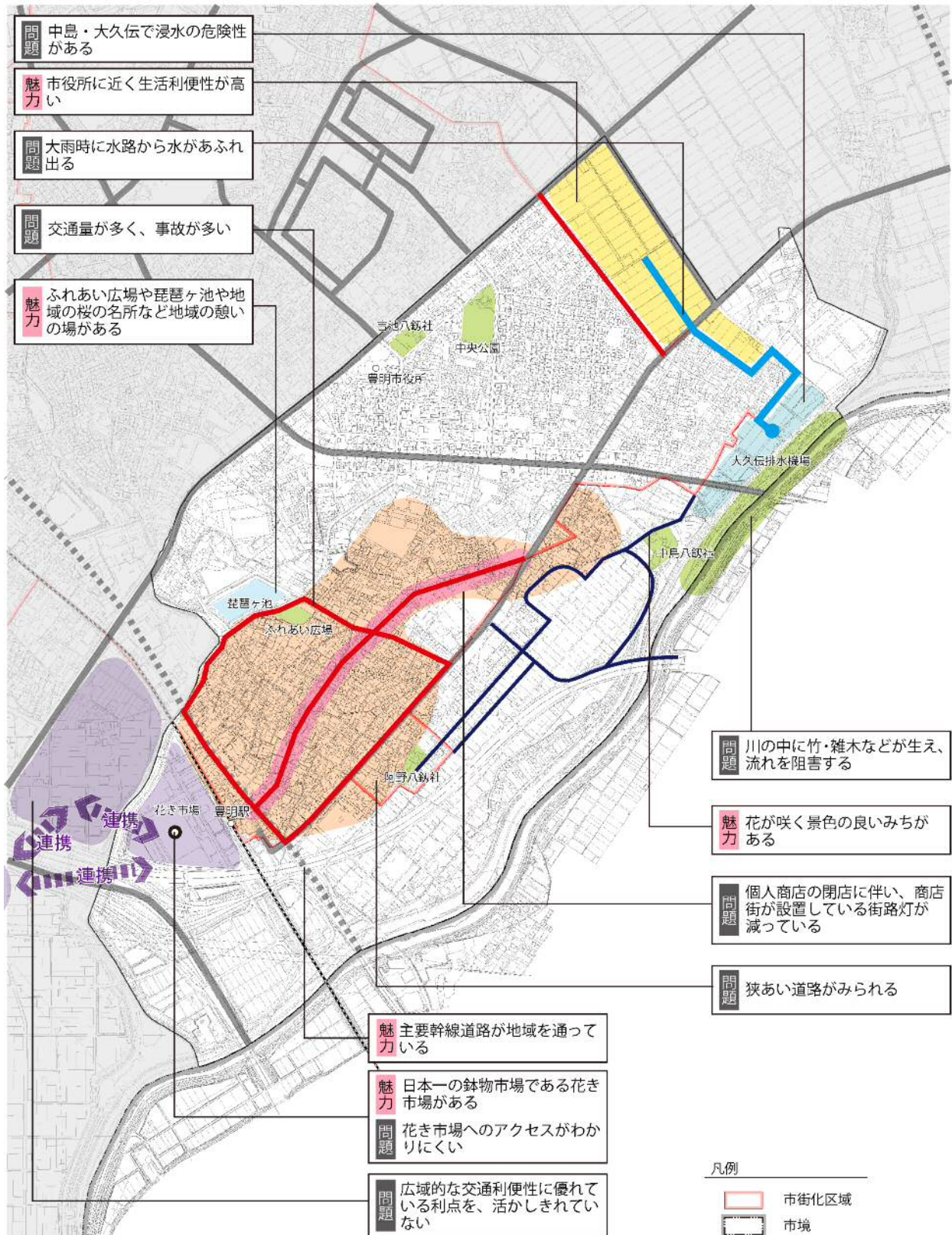
### (1)地域の魅力

- 身近に商業施設や診療所などの医療施設がそろっており、生活利便性が高くなっています。
- 日本一の鉢物市場である花き市場があります。
- 広域的な交通需要に対応する主要幹線道路として位置づける(都)国道1号東線や(都)名四国道、(都)名豊線などが地域を通っています。
- 琵琶ヶ池、中央公園、ふれあい広場等で地域の桜の名所となっており、地域住民の憩いの場となっています。
- 中央公園、琵琶ヶ池、ふれあい公園、中島八剱社、花き市場周辺では桜の名所など花が咲くきれいな景色が広がっています。

### (2)地域の問題点

- 花き市場があることから、一般の方が花を購入できる場所が求められています。また、花き市場への行き方が分かりにくいいため、対策が必要です。
- 個人商店の閉店に伴い、商店街が設置している街路灯が減っていることから、防犯灯の設置などの防犯対策が必要です。
- 豊明 IC 周辺において広域的な交通利便性に優れている利点が十分に活かされていないため、土地活用の検討が必要です。
- 農業の担い手不足などにより、地域内に休耕地がみられることから、農地の管理や活用などの対策の検討が必要です。
- 幹線道路などで渋滞が発生することにより、周辺的生活道路において通過交通が多くなっていることから、特に通学路における歩行者の安全確保が必要です。
- 見通しが悪いことや交通量が多いことにより、交通事故が発生している箇所がみられるため、安全対策が必要です。
- 豊明駅周辺の阿野地区などは、狭あい道路がみられ、災害時における緊急車両の通行や住民の避難を容易にするなど防災機能の確保のため、狭あい道路の解消が必要です。
- 大久伝排水機場周辺などは、大雨時に水路から水があふれ出すなどの問題が発生していることから、排水に関する都市基盤施設の改善が必要です。

図 主な地域の魅力や問題点



### 3 全体構想における位置づけ

#### (1) 将来都市構造

- 都市拠点に位置づけられている豊明市役所周辺があり、当該拠点では、既存施設の有効活用を進め、市民の利便性を向上させるとともに、商業、医療、福祉等の多様な都市機能の集積を高め、交流によるにぎわいの創出を図ります。
- 花と食の交流拠点に位置づけられている豊明駅周辺があり、当該拠点では、地域住民の暮らしを支える拠点の形成とともに、花のある暮らしと新鮮で安全な地場産食材を提供する憩いの場の確保を検討し、市内からはもとより広域からも多くの人々が訪れ、多様な交流が育まれる拠点の形成を図ります。
- 産業連携軸に位置づけられている(都)伊勢湾岸道路、(都)名四国道、(都)名豊線、(都)瀬戸大府東海線があり、産業活動を支える軸として機能の維持・強化を図るとともに、豊明 IC 周辺などで、物流や製造業等の土地利用を誘導します。

図 本地域の将来都市構造図



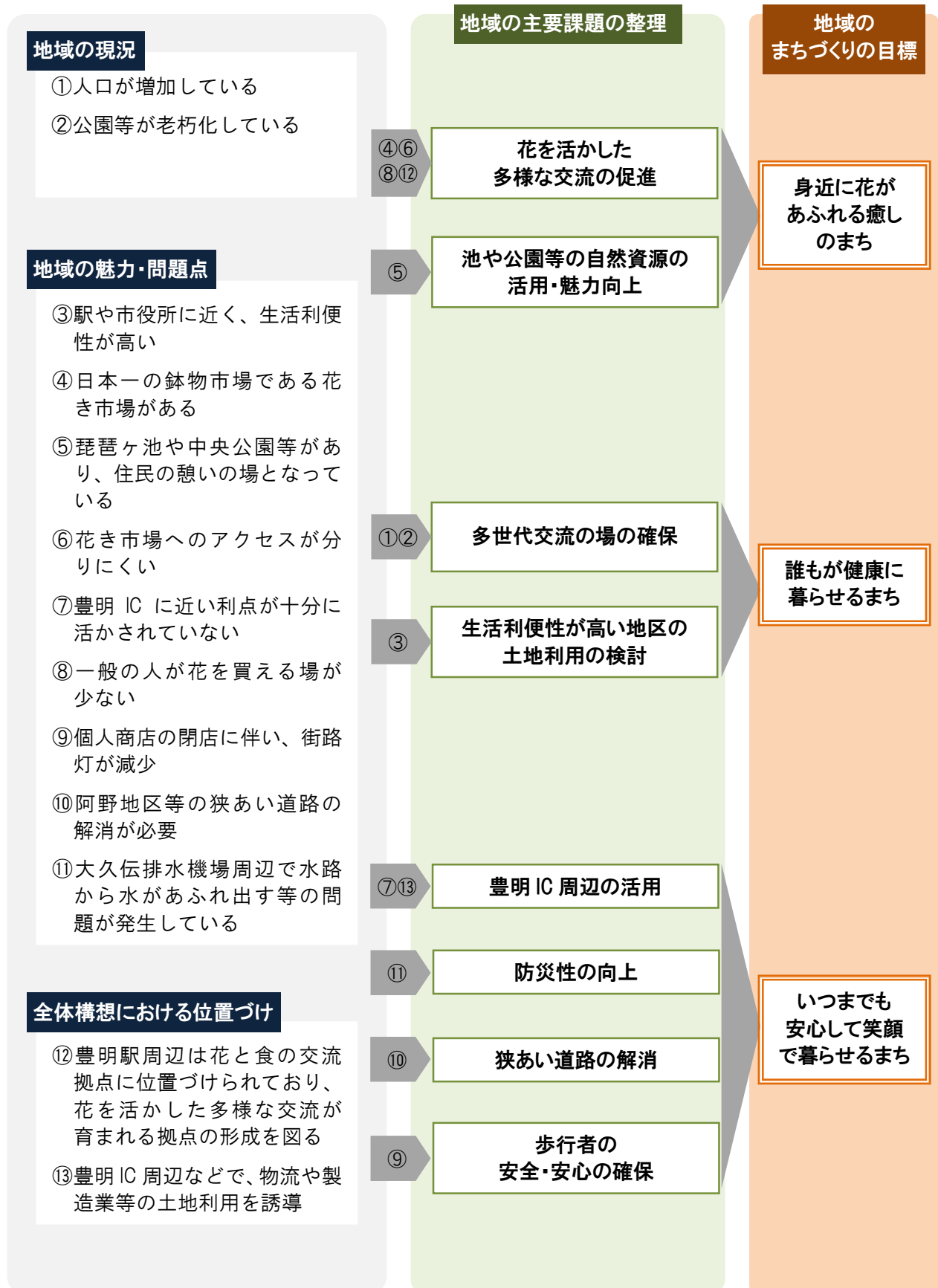
#### (2) 主な都市づくりの方針

- 中部地区をはじめ、土地区画整理事業により都市基盤施設が整備され、低層戸建住宅が多く立地する住宅地区においては、引き続き、現在の土地利用を維持し良好な居住環境を保全するとともに、日常生活に必要な施設が立地する住宅地の形成を図ります。
- 豊明駅北側の阿野町など都市基盤施設が未整備な地区では、都市基盤施設の改善を図るとともに、低層戸建住宅を主体とした土地利用を図ります。
- 広域的な交通需要に対応する主要幹線道路として位置づける(都)国道1号東線については、未整備区間の整備と整備済み区間の計画的な維持管理を関係機関に働きかけます。

図 本地域の幹線道路、公園・緑地の整備方針図



## 4 地域の主要課題の整理



## 5 地域のまちづくりの目標と方針

本地域の魅力と問題点を踏まえ、本地域がめざすまちづくりの目標を以下のように定めるとともに、その実現に向けたまちづくりの方針を示します。

### 地域のまちづくりの目標

#### 身近に花があふれる癒しのまち

本地域では、花き市場へのアクセスの検討や農地の活用、地域の自然資源を活かした散歩道や憩いの場づくりなどにより身近に花があふれる癒しのまちをめざします。

### 行政が主体的に取り組む地域のまちづくりの方針

- 初めての来訪者でもわかりやすいような、花き市場へのアクセスの検討を行います。

### 住民と行政との協働による地域のまちづくりの方針

- 後継者不足などにより管理が不十分な農地が増えていることから、新たな農業の担い手の育成や農地バンク制度の活用、市民農園を開設することなどにより地域住民と行政が協力しながら農地の活用策を検討します。
- ふれあい広場や琵琶ヶ池などをはじめとしたまちの魅力を活かした散歩道や広場の整備などにより、地域住民と行政が協力しながら地域の憩いの場づくりを進めます。
- フラワーボランティアの募集、花を増やす活動の実施などにより、地域住民と行政が協力しながら花を活かしたまちづくりを進めます。

### 地域のまちづくりの目標

#### 誰もが健康に暮らせるまち

本地域では、身近に健康づくりができる環境の形成を図り、誰もが健康に暮らせるまちをめざします。

### 住民と行政との協働による地域のまちづくりの方針

- 高齢者が増加していることや、多世代が交流できる場所が少ないことから、健康遊具の設置などによる、多世代が利用できる公園の整備について検討します。
- 市役所に近く生活利便性の高い城西周辺地区において、道路、公園や調整池の整備により安全な市街地整備を検討するとともに、多様な居住ニーズに対応した住宅地の形成を図ります。



## 地域のまちづくりの目標

### いつまでも安心して笑顔で暮らせるまち

本地域では、交通安全対策や防災対策により、安心して暮らせるまちづくりを進めるとともに、新たな産業ゾーンの整備などにより地域の活性化を進め、誰もが安心して暮らせる活力のあるまちをめざします。

#### 行政が主体的に取り組む地域のまちづくりの方針

- (都)国道1号東線などでみられる交通量の多い路線や事故の危険性の高い交差点、通学路などでは、歩行者の安全で円滑な移動確保のための道路整備や交通安全対策を進めます。
- 大久伝排水機場につながる水路周辺において、浸水することがあるため、流下能力の改善を図ります。
- 境川の中に竹や雑木などが生え、流れを阻害する状況が発生していることから、河川の継続的な維持管理を関係機関に働きかけます。

#### 住民と行政との協働による地域のまちづくりの方針

- 豊明 IC 周辺は、広域的な交通利便性に優れた地区であることから、地域住民や民間企業、行政が連携して、道の駅等の誘致や産業用地の形成などの検討を行います。
- 阿野・中島地区では、幅員 4m未満の狭あい道路が多くみられることから、建物の機能更新にあわせて道路幅員の確保を進めます。
- 防犯灯の設置や防犯パトロール等を推進するなど、安全で明るいまちづくりを進めます。

#### 【参考】住民が主体的に取り組む地域のまちづくりの方針

- 南海トラフ巨大地震等に対する防災・減災を図るため、防災運動会や避難行動要支援者の情報共有等自主防災組織の活動を継続して実施します。

